

廿日市市火葬場霊峯苑清掃業務作業要領

1 弾性床清掃作業の作業項目及び作業内容

(1) 除塵作業

① 自在箒又はフロアダスタによる除塵

自在箒、フロアダスタ（ダストモップ）で丁寧に掃き、収集した塵芥は所定の場所に搬出する。

② 真空掃除機による除塵

真空掃除機を使用し、丁寧に吸塵する。

(2) 水拭き作業

① 部分水拭き

汚れや水滴などが付着した部分をモップ等で丁寧に拭く。

② 全面水拭き

床全面をモップ等で丁寧に拭く。

(3) 補修作業

① 空バフイング

人通りの多い床面は、パッド装着した床磨き機で研磨する。

② スプレーバフイング

ア 汚れた部分に水又は専用補修液をスプレーし、パッドを装着した床磨き機で乾燥するまで研磨する。汚れが強い場合は、表面洗浄用洗剤を適正に希釈して用いる。

イ 削り取られたかすを取り除き、スプレーバフイングを行った箇所をきれいに拭いた後、樹脂床維持剤を塗布して補修する。

(4) 洗浄作業

① 表面洗浄

ア 床面の除塵を行う。（「(1) 除塵作業」に示す方法による。）

イ 表面洗浄用洗剤を適正に希釈し、モップ等で床面にむらの無いよう塗布する。

ウ 洗浄用パッドを装着した床磨き機で皮膜表面の汚れを洗浄する。

エ 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。

オ 2回以上の水拭きを行い汚水・洗剤等を完全に除去した後、十分に乾燥させる。

（「(2) 水拭き作業」に示す方法による。）

カ 樹脂床維持剤をモップで塗り残しや塗りむらの無いように塗布し、十分に乾燥させた後、塗り重ねる。

キ 樹脂床維持剤の塗布回数は、特記のない場合は2回とする。皮膜の損傷が著しい場合は更に1回重ね塗りをする。

② 剥離洗浄

ア 床面の除塵を行う。（「(1) 除塵作業」に示す方法による。）

イ 剥離洗剤を適正に希釈し、モップで床面にむらの無いよう塗布する。

ウ 剥離用パッドを装着した床磨き機で洗浄する。

エ 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。

オ 剥離状況を点検し、不十分な箇所がある場合は再度剥離作業を行う。

カ 水をまき、床磨き機で洗浄する。

キ 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。

ク 3回以上水拭きを行い、汚水や剥離剤を完全に除去した後十分に乾燥させる。（「(2) 水拭き作業」に示す方法による。）

ケ 樹脂床維持剤をモップで塗り残しや塗りむらの無いように塗布し、十分に乾燥させた後、塗り重ねる。

コ 樹脂床維持剤の塗布回数は、特記のない場合は3回とする。

(5) その他

- ① ビニル床タイルの洗浄仕上げに使用する樹脂床維持剤は水性とする。
- ② O Aフロア部分の洗浄については、多量の水を使わないドライ方式によるものとし、床下に洗浄用洗剤・汚水・ワックス等が流入することがないように十分注意すること。

2 硬質床清掃作業の作業項目及び作業内容

(1) 除塵

- ① 自在箒又はフロアダスタによる除塵
自在箒、フロアダスタ（ダストモップ）で丁寧に掃き、収集した塵芥は所定の場所に搬出する。
- ② 真空掃除機による除塵
真空掃除機を使用し、丁寧に吸塵する。

(2) 水拭き

- ① 部分水拭き
汚れや水滴などが付着した部分をモップ等で丁寧に拭く。
- ② 全面水拭き
床全面をモップ等で丁寧に拭く。

(3) 補修・空パフイング

人通りの多い床面は、パッドを装着した床磨き機で研磨する。

(4) 洗浄

① 清掃洗浄

- ア 床面の除塵を行う。（「(1) 除塵作業」に示す方法による。）
- イ 表面を十分にぬらした後、表面洗浄用洗剤を適正に希釈し、むらのないよう塗布する。
- ウ 洗浄用パッド又は洗浄用ブラシを装着した床磨き機で表面の汚れを洗浄する。
- エ 吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する。
- オ 2回以上の水拭きを行い汚水・洗剤等を完全に除去した後、十分に乾燥させる。（「(2) 水拭き作業」に示す方法による。）

(5) その他

磨き仕上げの石床に維持材を使用する場合は、石材専用の維持剤を使用するものとし、色あせ・変色することがないように事前に調査、確認後に作業を行うこと。

3 窓ガラス清掃作業の作業項目及び作業内容

(1) 洗浄

① 表面洗浄

- ア ガラス面に中性洗剤を適正に希釈して塗布し、汚れを除去してガラススクイジーで汚水を切る。
- イ ガラス面隅の汚水をタオルで拭き取る。
- ウ ガラス回りのサッシをタオル等で清拭する。ただし、サッシの溝やサッシ全体の清拭は含まない。

(2) その他

窓ガラス類の清掃は、両面清掃を行う。